

壮年会だより

< 3月21日(日) 14名出席 >

1. 3/7 教会委員会報告

2. 4月行事予定の確認: 先唱、朗読担当など。

3. 審議・報告事項

- ◆ 教会葬儀取扱規定の改定関連:
 - ・壮年会の担当は「屋外班」
 - ・「壮年会連絡網」による通常連絡に加えて、「葬儀手伝」依頼のための連絡網を別に設定して、これに沿ってお手伝い頂ける壮年会員を招集する。
 - ・この連絡網設定のために別途協力依頼を掲示して、会員に記入頂く。
 - ◆ 例会に出席されない会員への住所録・連絡網の送付法: 郵送により行う。
 - ◆ 春のハイキング: リーダーのご都合もあり、春は行わない。
 - ◆ 朗読・サロン担当見直し:
 - ・今後、3ヶ月単位で見直していく(4～6月に絞って、日程表別途作成)
 - ・サロンに関し、1年に2回程度の当番では運営要領が覚えられないので、少し連続してサロン担当をやる仕組みに変えていく。(まずは1～3月に担当された方に4～6月も担当をお願いしていく)
 - ・サロン運営参画者不足に関連して、まずは(サロン以前に)壮年会に参加する人の拡大に注力すべき(宮崎さん)。(今後の「壮年会の在り方」にも繋がる)
 - ◆ 広報「なかわだ」寄稿: 提案のあった「復活祭インタビュー」についてはご提案者の鈴木さんとも相談の上進めていく。
 - ◆ バザー: 今年はずいぶん早くにバザー委員会を発足させて諸般の準備に入る。4/4 委員会で提案。
 - ◆ 聖堂入口スロープ改修: 4月3日の大掃除の時に行う。
 - ◆ 聖堂玄関のスノコ改修: 部分改修か全体改修かを含めて、七浦さん、古田さんに見積お願いする。
 - ◆ 復活祭パーティ準備: 例年の如く、壮年会は飲み物を担当。1万円程度で準備することとなるが昨年の実績内容を確認(山田さん)。
 - ◆ 復活祭で山崎神父様の駐車場確保: パイルを置いて確保しておく(小野)。
- ### 4. 自由発言:
- ◆ ごミサで、聖変化の鐘の合図後の処し方が不統一にみえる。はっきりさせたい。(小谷さん)
 - ◆ チルドレン・アンサンブルを4月以降も続ける。(若いお母さん達から要望が多い)(小谷さん)
 - ◆ たまには、ハイキングではなくて日帰りバス旅行でもよいのではないかと?(古田さん) ⇒ ハイキングとは切り離れた別計画としてはどうか(山田さん)。

婦人会だより

< 3月21日(日) 30名出席 >

1. 委員会報告

2. 話し合いの内容

- ① 委員会より運営基準見直しのためのプロジェクトチームをつくるにあたり、婦人会から2名を選出してほしいとの依頼があり、阿部寿美恵さん、石井悠子さんを選出しました。
- ② 入院中の荒木さん、竹田さん、退院後自宅療養中の鈴木さんへ、みなさまの祈りをこめたお見舞のカードをさしあげます。みなさま各自でのお祈りをお願いします。
- ③ バザーおよび教会行事のための仕事分担表を出席者のみなさんに回して、協力できる方に記入していただきました。例会終了後、それぞれに分かれて話し合いをしました。早速、食事担当グループ(仮称)は復活祭パーティーの準備を、洋裁・手芸担当グループ(仮称)はバザー用作品作りの準備をはじめました。
- ◆ 洋裁・手芸担当グループ(仮称)から ⇒ 4月から毎週木曜日、午後1時から仕事会をいたします(但し、4月8日はなし)。取り敢えず編み物から始めますので、編み棒、カギ針を持参のうえ、どなたでもご参加ください。なお、洋裁のできる方の積極的なお手伝いを期待しています。
- ◆ 食事担当グループ(仮称)から ⇒ 4月10日(土)10時からイースターたまご作りをします。手伝える方はお願いします。
- ④ 財務のお手伝いに、すでに決まっていた江尻さん、宮崎さんに加えて、内藤和子さんと松尾秀子さんにもお願いすることが報告されました。

【次回例会は4月18日(日) 当番はB地区】



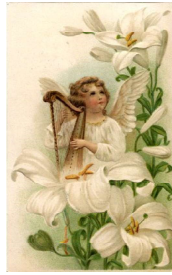
あとがき

早いもので『広報なかわだ』もついに **300号** を発行するに至りました。

これまでたくさんの御投稿を頂き、暖かく支えて下さった皆様にあらためて御礼申し上げます。

これからもより一層充実した紙面にして行きたく、皆様の御協力宜しく御願い申し上げます。

広報委員会一同

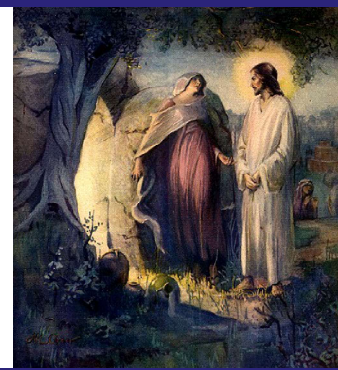


広報 なかわだ

4月の予定

第300号

委員会	4月 7日
枝の主日	4月 4日
復活の主日	4月 11日
壮年会、婦人会	4月 18日
サロン	4月 25日
レジオ	4月 16, 23日



2004年 4月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成16年4月4日



「アレルヤ」という教会全体の気分

ジャック グルニエ 神父



今月、5人の方が中和田教会のメンバーになります。その新しいキリスト信仰者は、やはり全典礼暦年の頂点として輝きを放っている復活祭のミサの中で洗礼を受けます。

全世界で歩むそれぞれの教会に加えられた方々は、わたしたちみんなにとって、みんなが共通に預かっている信仰を強めてくれる存在だと分かります。なぜなら、彼女、彼らはかけがえのない便りを渡し、いのちの尊さを語ってくれるからです。

「道」である主キリストを既に見つけた「求道者」の方こそが、今日も明日もわたしたちと共に来られる神を認め続けて行きます。

復活の主日から聖霊降臨の主日に至るまでの50日間は、一つの祝日として、また、より適切には「大いなる主日」として、歓喜に満ちて祝われます。「アレルヤ」(「神を賛美せよ!」)がとくに歌われるのは、この季節であります。

お知らせ

聖週間の典礼

- ◆ 枝の主日4月4日 主日ミサ
- ◆ 聖木曜日4月8日 pm8 主の晩餐のミサ
- ◆ 聖金曜日4月9日 pm8 主の受難
- ◆ 聖土曜日4月10日 pm7 復活徹夜祭ミサ(洗礼式あり)
- ◆ 復活の主日4月11日 am10
(洗礼式あり、ミサ後パーティー)

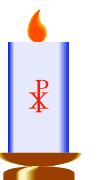


帰天

マリア・アンナ 佐々木靖子様 3月4日

ご結婚

3月27日 茅ヶ崎教会にて
ミカエル 阿部 敏様
宮澤 ちひろ様



ミサ当番表 (2004年4、5月)

月日	主日	朗読・奉納	共同祈禱	侍者	オルガン	月日	主日	朗読・奉納	共同祈禱	侍者	オルガン
4/4	受難の主日	甲斐・北川	甲斐	石井拓	岩 渕	5/2	復活節第四主日	竹内・丸田	竹内	美恵か・石井麻	森 田
4/11	復活の主日	青年会	青年会		森 田	5/9	復活節第五主日	青年会・松田	青年会	永田・下迫佳	保 科
4/18	復活節第二主日	清水・森田	阿部(映)	石 崎	保 科	5/16	復活節第六主日	武田・永田	小山(緑)	石井大	岩 渕
4/25	復活節第三主日	鈴木・小山(緑)	鈴木	下迫瑜	岩 渕	5/23	主の昇天	東原・町田	東原	石井拓	森 田
当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏: Tel 802-6258)迄お申し出下さい。						5/30	聖霊降臨の主日	富田・山本	山本	石 崎	保 科

「 2 6 6 4 」

石 井 三 雄

「いらっしやいませ、お客様はお泊りですか」係りの女性が笑顔で聞いてきた。「ええ」といいながら、その女性にインターネットで申し込んで取得した予約番号を見せた。彼女は受付の台帳を何度か見直していたが見当たらない様子である。「いつ申し込まれたのですか」「昨日」「少々お待ちください」というと部屋の中央にいる恰幅の良い男性に相談するような仕草をしていた。

離れたところに座ってこちらを見ている不安そうな家内の顔が見える。やがてその男性の応対が変わった。「直接私共の方に申し込まれたのですか」「いいえ、ヤフトラベルで」といいながら、昨夜の今日ではまだ連絡が来ていない可能性が有るのではと思います、昨日の申し込みの経緯を説明した。「実は今日が結婚記念日なので、どこかに出かけようと、急な思いつきでこちらを申し込んだのです。」



ちょうどその時、最初に応対した女性が書類を持ってきて男性に渡した。それを見ながら「ご結婚記念日おめでとうございます。」カウンターの中にいた4、5人のスタッフもそれに唱和した。「おめでとうございます。」宿泊の申し込みをしている客たちも笑顔でこちらを見ている。思わぬ事態に多少照れた。「何周年でございますか。」正直なところ正確な年数を記憶していない。振り返って家内を手招きした。先ほどとは違って、今度は笑いながら「39周年です」と答えている。家内は家族の誕生日とかこういう日は実によく覚えている。

「ご予約のお部屋は変更させていただきます。これは当ホテルのサービスです。」この展開には無論文句はない。喜んで応じた。ディナーの時も、祝福の絵文字を書いたプレートをプレゼントしてくれた。まさに思い出に残る記念日となった。

このホテルにはドライブの途中時々コーヒーを飲みに立ち寄る事はあったが、その度に、一度は泊まってみたいと考えていたが、このような形で実現するとは思ってもみなかった。F屋ホテルの小史を見て判った事は、箱根宮ノ下で創業以来126年を超える老舗のホテルであること。創業者の山口仙之助は26歳のときにこのホテルを興し、64歳で他界するまで正に波乱万丈の生涯をこのホテルと共に過ごした事も記されていた。

私自身は、26才のときに結婚をして第二の人生のスタートを切り、現在64才になる。この創業者との比較など全くの意味を持たないが、この26と64という数字に惹かれた。

子供の出産に一喜一憂し、やがて孫が生まれ、それと前後しながら親、兄弟、友人との別れがあった。その人生の過程で、我々夫婦は同じ失敗や過ちを何度となく犯し、時には反目してきた。こんな述懐をすると、諸先輩の方からは60代の若造が何をいっているか、とお叱りを受けるのは目に見えている。しかし、この日、これを思考する時間と場所を与えられたと思っている。

「……わたし(たち)の罪をおゆるしてください、わたし(たち)も人をゆるします……。」どれだけ実践できるか心許無いが、これから私共の人生はこれが基本になると思っている。



おめでとうございます！
(叙階式が終わって)

委員会だより

< 3月7日(日) 9名出席 >

1. 行事関係

- ① 高野助祭の司祭叙階式の詳細
日時:3月20日(土・祝日) pm1時30分 会場:沼津教会
参加人数: 34名 参加費:大人3000円, 子供1500円

集合場所:立場バスターミナル 集合時間:午前9時
お祝い金は、一般会計から3万円を支出。
② 聖公会・聖クリストファー教会との合同祈禱会
合同委員会を4月25日(日)13:30から中和田教会で行なう。

- ③ 4月行事予定 …… お知らせ参照

2. 会計報告(甲斐委員)

3. 信徒総会に出された課題の検討と進捗状況

- ① 葬儀マニュアルの件
婦人会役員、典礼委員、委員長、副委員長で話し合う。
② 運営基準の見直しの件
プロジェクトチームにて以前の資料等も参考にしながら検討。
③ 建設会計について(バザー券発行の件も含めて)
建物の維持管理や将来を考えると、資金面はどうしても不足。従いバザー券発行は必要でバザー目的にも盛り込む。
当面は、補修を繰り返しながら、その間に新築についてもみんなの意見を聞いたり、情報を集めたりしながら、実施となれば別途委員会を立ち上げる必要がある。取り敢えず、補修計画を福島副委員長に立てていただく。
④ 財務報告業務の増大に関して
教区への報告業務の増大に伴い、月定献金やミサ献金等の集計業務を婦人会の以下のメンバーに手伝っていただくことになった。なお、銀行・郵便局などへの入金・出金業務は神父様がしてください。
財務補助メンバー ⇒ 宮崎ヒトミ、江尻迪子、内藤和子、松尾秀子のみなさん
⑤ 布教グループの増員について
必要が生じてから考えたい旨竹内委員の意向が伝えられた。

中和田教会信者一同から一言

(2月5日なかわだホームページより)

次の日曜日で高野助祭ともお別れだと思うと本当に寂しい気持ちで一杯です。子ども達が本当にお世話になりました。ありがとうございました。神父さんになられても「今のままで」・・・人の痛みを共感出来る神父さんになって下さいね。あなたの笑顔で、傷ついた人々が癒やされますように……。中和田の皆がついているからね。

ありがとう。

⑥ その他

- ◆ 信徒から高野助祭へのお祝い献金は、もし現金が残った場合、そのまま現金でお渡しする。
- ◆ 山崎神父様を復活祭パーティーにご招待する。
- ◆ 教会に来ておられない方や来られない方に、ご復活のお知らせやメッセージを届けたいという神父様のご希望があるので、神父様の原稿が出来次第カードにして発送する予定。⇒ 作業は広報委員
- ◆ 下迫さんが、集会室のシンク廻りを修理して下さいました。
- ◆ 武田さんがご家族で庭の土留め工事をして下さいました。ありがとうございました。

4. 各委員、グループからの報告、連絡、検討事項

① 典礼委員:

- ◆ ミサでの先唱者は現在9名(壮年会)が登録。ルール化は現在のところ困難。
- ◆ 購入予定だった復活のローソクは、買わずに今あるのを使うことになった。

② 福島副委員長:

- ◆ アンプが故障。まず優先的に修理したい。
- ◆ 改善してほしいなどのことがあったら、挙げてほしい。
- ◆ 建物関係のことは、福島副委員長が兼務する。

③ 委員会:

- ◆ 売店担当グループからスチール棚使用の要望が出ている件は、担当者と委員長、副委員長が話し合う。

④ 壮年会:

- ◆ 30周年に向けて、信徒名簿を新しく作ってはの提案があった件で、取り敢えず、現在の名簿に委員会の委員名簿を貼りつけて、連絡に便を図るようにする。
- ◆ オルガン調律の要望があった。
- ◆ 「敬老ミサ」の言い方を「祝老ミサ」としてはとの意見。

⑤ 婦人会:

- ◆ 聖堂の窓に日よけが欲しいとの要望があった。⇒ 必要な期間が短いので不要。
- ◆ 玄関のすのこがささくれていて危険。⇒ 壮年会の匠方にみていただく。